

敬老乗車証制度の 現状や課題を 知っていただくために

本市は、敬老乗車証制度を、将来にわたって維持していくための検討を続けています。今年8月にアンケート調査を実施しましたので、その結果等をお知らせします。



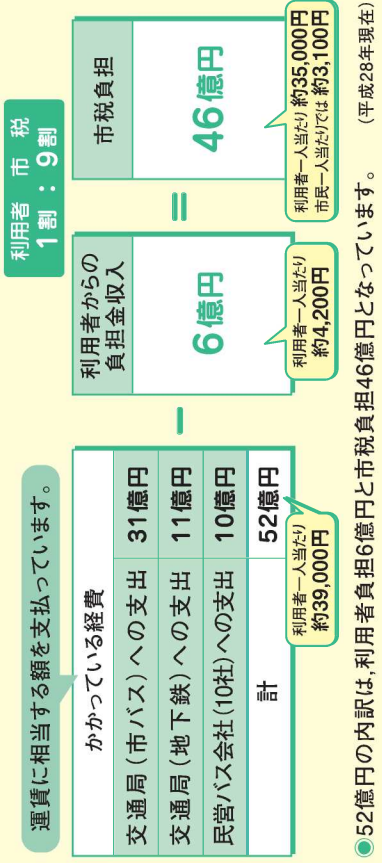
広告

敬老乗車証制度とは？

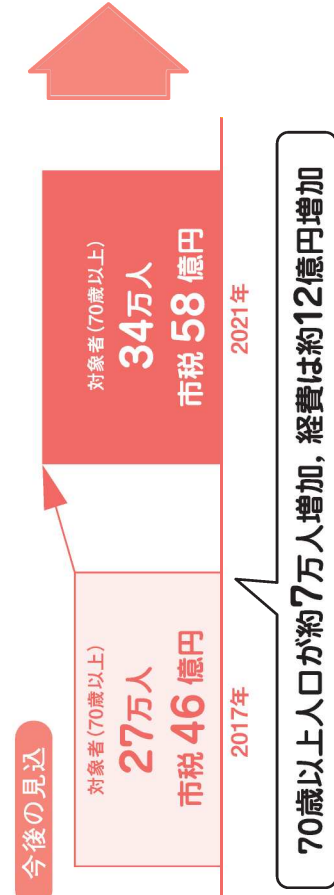
- 敬老の意を表するとともに、社会活動、生きがいづくり等に役立てていただくため、**70歳以上**の市民の希望者に対し、**市バス・市営地下鉄全路線**に乗車できる乗車証（年間フリーパス）を交付しています。
※市バス・地下鉄が運行していない一部地域で民営バス乗車証も交付
 - 利用者には、所得に応じて、**年額 0円～15,000円の負担金**をいただいています。
 - 平成28年時点で、利用者は**13万4千人**で、70歳以上の方の49.3%の方が利用しています。
- 参考：本市の市バスフリー定期券の価格

通勤・市市中心フリー定期券（6か月）	49,900円（年間約10万円）
大学・短大生向け 市バス通学定期券（6か月）	42,770円（年間約8万5千円）

かかっている経費は？

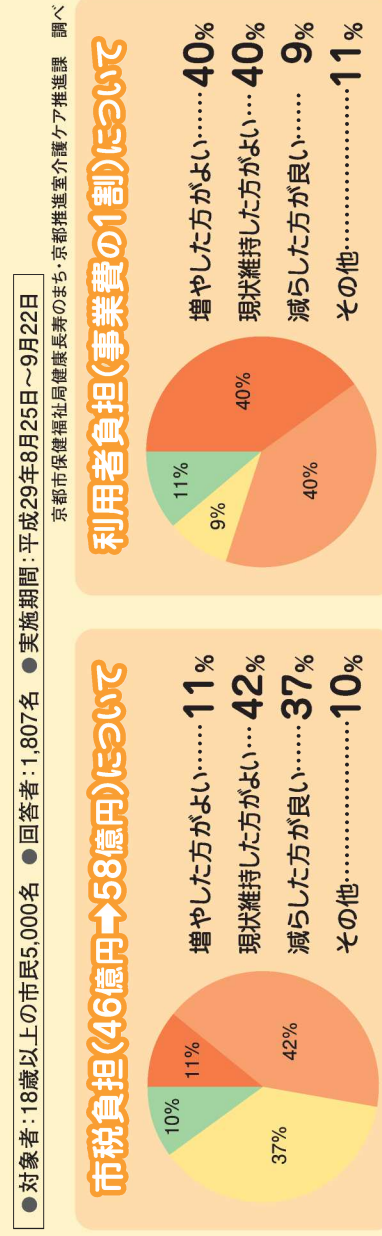


敬老乗車証制度の現状と課題



市民アンケートの結果

- 主な結果
- バス平均利用回数（月間）
- 70歳以上（乗車証利用）…13.90回
- 70歳以上（乗車証非利用）…2.33回
- 69歳以下 …………… 7.00回



自由記述欄に記載された主なご意見（抜粋）

敬老乗車証を使って外出の機会を増やすことは、健康寿命を長くすることに繋がり、介護費用の軽減にもなります。現状を維持してもらいたいです。（70歳以上・乗車証利用者）

制度開始の年齢を75歳に引き上げるなどしてはどうか。（59歳以下）

市の財政負担増回避のため、個人負担の増加もやむを得ない。（70歳以上・乗車証利用者）

免許返納者の増加の為に、この制度は必要だと思えます。（60歳代）

市税と利用者で50%ずつづづの負担が理想だと思います。子どもは半分支払っているの、高齢者もそのくらいは負担すべきです。（59歳以下）

※アンケートご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。詳しい結果については、Webで「敬老乗車証 アンケート結果」と検索するとご覧いただけます。本市の高齢者施策については、「新7期京都市民長寿すこやかプラン」でWeb検索！

